

長かった夏休みも終わり、今日からいよいよ2学期が始まります。皆さんは、この夏休みをどのように過ごしましたか。私は、この夏は朝早く起きてウォーキングを続けました。朝のひんやりとした空気に触れながら、日々移り変わる景色を楽しんで歩く、1か月以上継続しているうちに、歩かなかった日はなんとなく落ち着かない、そのくらい歩くことが習慣となっています。この習慣を崩すことなく2学期も過ごしたいと思いません。しかしながら、9月に入るとすぐに体育祭があり、3年生の就職希望者は就職試験を、1・2年生は新人戦を迎えます。この時期、あれやこれやとしなければならないことがたくさんありますが、一つずつ片付け、余裕を持ってことに当たることができるよう生活してください。

余裕を持って事に当たる、ということに関連して、一つお話をします。皆さんはしなければならないことがあるときに、「先に片付けてしまう人」か「ついつい後回しにしてしまう人」か、どちらでしょうか。私自身は、今は仕事においては「先に片付けてしまう人」になりました。以前は忙しさを言い訳にぎりぎりになることも多かったのですが、しなければならないことを後回しにすると、自分も気になって焦るし、生活は一人でしているものではないので、周囲にも迷惑をかけると感じてから、先に先にするようになりました。特に、「困ったことは先延ばししない、すぐに対応すること」を心がけています。あー、面倒だな、と思うことも取りかかってみれば意外とスムーズに事が運べたり、新しいことが出てきても余裕を持って対処できたりと、いいことはあっても困ることはありません。2学期は何かと行事も多く、皆さんも忙しいと感じることが多いと思いますが、是非やらないといけないことはすぐにする、を実行してみてください。

10月末には、創立80周年記念式や高校祭がありますが、記念講演では本校の大先輩で、人間国宝として「文楽」の世界をけん引しておられる吉田和生さんが講師として来てくださることになりました。「文楽」って何?という人もいるでしょうが、この吉田さんという方はたまたま飛び込んだ「文楽」の世界において、その環境の中で自分がなすべきことを一つずつ体得して、現在の地位を確立されました。講演では、文楽の話ばかりだと堅苦しいものになってしまうので、とのご配慮から、同級生のお仲間と皆さんからの質問に答えていく座談会の形式でざっくばらんにお話くださるそうです。日本を代表する方が先輩にいらっしゃる、その方のお話を聞く中で新しい世界に触れること、など、2学期は忙しい中でも皆さんの成長に影響を与えるいろいろな行事が次々とあります。

毎回のお願いになりますが、2学期も健康管理をしっかりと、毎日の学校生活の中の楽しみや気づきを皆さんの成長の糧とし、12月に振り返って「私よく頑張った」と声を大にして言える、そんな学期となることを心から期待して式辞といたします。

令和7年8月27日

愛媛県立野村高等学校長 松井 由紀子